

資料 2

展示基本構成内容検討のポイント

項目				検討事項	現在の構成
1	新規	P6	【プロローグ】 シナリオ	P3位置づけに沿ったシナリオとなっているか。	
2		P11	【災害の始まり】 展示内容	○震災前の日常生活が、地震、津波、原発事故により一変したこと、また、その時人々がどのように行動したのか伝わる構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ A2-1 事故前の暮らし →震災前の日常生活を伝える ■ A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～ A2-3 原発事故の発生 →地震、津波、原発事故による状況の一変を伝える ■ A2-4 災害対策本部の記録 →人々がどのように行動したか伝える
3		P12	【事故前の暮らし】 展示内容	○事故前の原発周辺町村の暮らしはどのようなものだったのか、伝わる構成となっているか。 ○事故前の原発周辺町村の暮らしについて、来館者には「普通の暮らしがあったこと」を知るきっかけに、住んでいた方々には「当時の暮らしを思い出す」きっかけにすることができる構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ A2-1-1 ○ 原発事故はここで起こった（地図解説） →福島の基本情報を伝える ■ A2-1-2 ○地域の日常を示す映像 ※シナリオあり ○事故前の原発立地周辺の産業に関する解説（パネル） ○実物資料 →事故前の暮らしを伝える ■ A2-1-3 ○原発と地域社会の関わりに関する解説（パネル） ○実物資料 →原発との共存の様子を伝える
4	新規	P13	【事故前の暮らし】 基本シナリオ	○事故前の原発周辺町村の暮らしはどのようなものだったのか、伝わる構成となっているか。 ○双葉郡の震災前の様子を中心に構成しているが、加えたほうが良い要素等あるか。 (地域の日常が伝わりやすい要素等)	<p>以下をテーマに構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自然 ②人々の交流 ③伝統産業 ④祭り ⑤祭り、民俗芸能 ⑥Jヴィレッジ（双葉郡内の主要施設としてピックアップ）

項目			検討事項	現在の構成
5	P17	【東日本大震災～地震と津波の記録～】 展示内容	○地震と津波の発生により日常生活が一変してしまったこと、地震と津波が襲った際の恐ろしさが伝わる構成となっているか。	■A2-2-1 ○地震・津波の様子（映像）※シナリオあり →発生前後で様子が一変する様子を映像で表現 ○実物資料 →被害の大きさ等を表現
6	P18	【地震・津波の様子】 基本シナリオ	○地震、津波の発生前後において、世界が一変してしまったことが伝わる構成となっているか。	地震発生直前～地震発生～津波到来を実際の映像で構成。
7	P20	【東日本大震災～地震と津波の記録～】 実物資料	※032,033資料先行確定	展示ケース調整の都合により、先行して確定したいもの。
8	P22	【原子力発電所事故の発生】 展示内容	○原子力発電所事故の発生状況が伝わる構成になっているか。	■A2-3-1 ○原発事故解説映像・原発模型 ※シナリオあり →導入として、事故概要を映像と模型で表現。 ○5重壁の崩壊（デジタル解説）※シナリオあり →事故詳細をタッチパネルで解説 ○チェルノブイリ等との比較（パネル解説） →過去の原発事故と比較し、事故の重大さを伝える。 ○実物資料 →事故発生当時の様子が分かる資料
9	P23	【原子力発電所事故解説映像】 基本シナリオ	○原発事故発生について、概要が伝わる構成になっているか。	2分間の解説映像（地震発生～水素爆発）後、事故発生直後の原発構内の様子を模型で表現。
10	P24	【5重壁の崩壊】 基本シナリオ	○原子力発電の仕組み、5重壁の安全対策と、なぜそれが崩壊してしまったのかについて伝わる構成になっているか。	①原子力発電の基礎知識 ②5重壁の安全対策 について、タッチパネル解説で詳細を学べるように構成。

項目				検討事項	現在の構成
11		P28	【災害対策本部の記録】 展示内容	○国、県、市町村の災害対策本部を中心に、対応の記録が伝わる構成になっているか。	<p>■A2-4-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政の対策について（パネル解説） ○報道映像 ※シナリオあり ○実物資料 →それぞれの災害対策本部当時の動きを伝える。 <p>■A2-4-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オフサイトセンターの記録（パネル解説） ○実物資料 →オフサイトセンターの当時の様子に焦点を当てる。
12	新規	P29	【報道映像】 基本シナリオ	○当時の災害対策本部の様子が伝わる構成になっているか。追加すべき要素はあるか。	○各災害対策本部の代表例として、県、原発立地町（大熊）、ピックパレット（富岡、川内）、計画的避難（飯舘）の構成としている。
13		P32	【災害対策本部の記録】 実物資料	※067,068資料先行確定	展示ケース調整の都合により、先行して確定したいもの。

項目			検討事項	現在の構成
14	P35	【原子力発電所事故直後の対応】 展示内容	○原発事故発生直後（事故発生～避難所生活）の状況を、避難などの様子からその特殊性を訴求できる構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ A3-1 避難の開始 →避難状況、その特殊性を伝える ■ A3-2 県内に広がる不安 →原発事故直後の放射線に対する不安、その影響と対応を伝える ■ A3-3 国内外の反応と支援 →国内外の反応、支援について伝える
15	P36	【避難の開始】 展示内容	○突然の避難の開始や、避難所での生活、その後避難所を転々とした状況と、当時の人々の心境を伝える構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ A3-1-1 ○突然の避難と度重なる移動（パネル解説） ○実物資料 →各市町村の避難開始の状況、混乱の様子を伝える ■ A3-1-2 ○避難所の生活（パネル解説） ○実物資料 →避難所の状況、混乱の様子を伝える
16	P41	【県内に広がる不安】 展示内容	○避難指示の推移と、それに伴う県内の人々の動きが伝わる構成になっているか。 ※原発事故発生直後の動きのみ。長期的な動向については、長期化ゾーンでテーマごとに取り上げる。	<ul style="list-style-type: none"> ■ A3-2-1 ○放射線への不安（パネル解説） →人々抱いていた放射線への不安について、当時の状況を解説する。 ○避難の推移など（原発避難の7日間）（映像等デジタル解説） ※シナリオあり →避難の推移とそれに伴う県内の人々の動きを伝える。 ○実物資料 →人々の不安、混乱、それらへの対応が伝わる資料 ■ A3-2-2 ○産業への影響と各団体の対応経過（パネル解説） →事故直後の産業への影響と対応を伝える。

項目			検討事項	現在の構成
17		P42 【原発避難の7日間】 項目	○原発事故発生後からの7日間について、混乱する社会や人々の様子が伝わる構成になっているか。	「正確な情報」「初期行動」の重要性を伝えるため、人々の動き及び物流をテーマに構成。
18	新規	P43 【7日間の事故の実像】 基本シナリオ	○7日間の状況を事実に沿って淡々と伝えていく構成になっているか。	
19	新規	P44 【避難を強いられた人々】 基本シナリオ	○避難指示が出された地域、また、屋内退避指示が出された地域等、それぞれの状況下で人々がどのように行動したのか伝わる構成になっているか。	大熊町及び双葉町（避難指示区域）、南相馬市（屋内退避指示区域）を代表例に構成。
20	新規	P45 【滞った物流】 基本シナリオ	○避難指示の拡大の影響を受けた、物流の観点から、人々の動きが伝わる構成になっているか。	県内全体の動きを追った後、「陸の孤島」となってしまった南相馬市に焦点を当てて構成。
21	新規	P46 【研修用ビッグデータ活用例】 構成案		
22		P49 【国内外の反応と支援】 展示内容	○原発事故の発生に対する国内外の反応、支援が伝わる構成になっているか。	<p>■ A3-3-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界が捉えた原発事故（パネル解説） ○海外の報道・支援など関連映像 ※シナリオあり ○実物展示 →海外の反応を伝える <p>■ A3-3-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実物展示 →支援物資をとおして支援した人々の想い、それに対する県民の感謝を伝える。 ○クラウドファンディング（パネル解説） ○ツイッターを用いた新たな支援（パネル解説） →東日本大震災での新たな支援について伝える。
23		P50 【海外の報道・支援など関連映像】 基本シナリオ	○原発事故の発生に寄せられた、国内外の反応と支援について、当時の報道映像をとおして伝わる構成になっているか。	<p>①海外のオンエア映像を組み合わせ、反応を振り返る。</p> <p>②海外からの支援について、国内外のオンエア映像で振り返る。</p>

項目			検討事項	現在の構成
24	P54	【県民の想い】 展示内容	○原発事故前と事故後の人々の暮らし等の変化を、人々の想いを中心に伝えられるテーマ設定になっているか。	<p>※A4-1～A4-4まで全て、証言映像と実物資料で構成</p> <p>■A4-1 災害時に感じた不安・恐れ →地震、津波、原発事故発生時の想いを伝える</p> <p>■A4-2 楽しかった学校生活と突然の別れ →避難に伴う学校生活の変化に対する想いを伝える</p> <p>■A4-3 家族との思い出や地域生活と別れ →避難に伴い離れざるを得なかった家族、地域に対する想いを伝える</p> <p>■A4-4 生活基盤の喪失と将来への不安 →避難に伴い生活基盤を失った人々の将来に対する不安等を伝える</p> <p>■A4-5 全体演出 →震災前後の映像演出+A4-1～A4-4のダイジェスト映像 ※シナリオあり</p>
25	P55	【県民の想い】 全体演出 基本シナリオ	○原発事故前と事故後の人々の暮らし等の変化を、人々の想いを中心に伝えられる構成になっているか。	<p>①震災前の様子（自然、日常生活、学校生活、産業）</p> <p>②震災発生時の想い</p> <p>③避難生活における不安</p> <p>④福島（ふるさと）への想い</p>
26	P65	【長期化する原子力災害への対応】 展示内容	○原子力災害が長期化するなかで、福島が受けた影響とその対応を教訓として伝えるにふさわしいテーマ設定となっているか。	<p>■A5-1 風評の払拭</p> <p>■A5-2 除染の取り組み</p> <p>■A5-3 長期避難に対する取り組み</p> <p>■A5-4 健康不安に対する取り組み</p>
27	P66	【長期化する原子力災害への対応 各コーナー】 展示内容	○風評の払拭、除染の取り組み、長期避難に対する取り組み、健康不安に対する取り組みについて伝わるコンテンツ構成になっているか。	<p>○デジタル解説 ※シナリオあり</p> <p>○実物資料</p> <p>○数値データ（模型） →数値データ（震災前後の推移など）を模型等で表現し、視覚的な理解を促す。※掲載データ未定</p>

項目			検討事項	現在の構成
28	P67	【風評の現在】 基本シナリオ	○風評の影響をデータで把握し、それに対する取り組みを伝えられる構成となっているか。 ○追加したほうが良いデータ、取り組み等あるか。	①主な農林水産物に関する推移データ ②観光客数の推移データ →風評の影響が大きかった農林水産物、観光に焦点を当てる ③消費者意識の実態調査結果推移 →消費者意識の変化を伝える ④その他風評の実態と対策関連資料 ※詳細検討中
29	P71	【除染の取り組み】 基本シナリオ	○除染とは何か、進捗状況等、県内で進められている取り組みについて伝えられる構成となっているか。 ○追加した方が良いデータ、取り組み等あるか。	①除染とは →除染の基礎知識 ②避難区域等の推移及び除染区域マップ ③県内の除染の進捗と事後モニタリングの結果 ④仮置き場等での保管状況と、中間貯蔵施設への搬出状況 →除染の進捗状況を伝える ⑤環境創造センターからの最新の情報等 →新たな取り組み等を伝える
30	P73	【除染のやり方】 基本シナリオ	○除染のやり方について、来館者の身近なところから学べるような構成となっているか。	来館者が一番身近に感じられる「住宅」を中心に、屋根、壁等各部分の除染のやり方を紹介。
31	P79	【長期避難の現在】 基本シナリオ	○長期避難がもたらす諸問題とその対応策について、経緯と現在の状況を伝えられる構成となっているか。 ○追加した方が良いデータ、取り組み等あるか。	※以下データと合わせて、それに対応する取り組みを構成 ①避難区域等の推移、12市町村の避難者数及び居住者数の推移と最新情報 →避難状況概要 ②国、県、市町村が実施した「住民意向調査」の結果 →住民の意向 ③全国避難者数 ④原発事故で避難した市町村の学校の児童・生徒数 →避難状況のうち、県外避難、学校生活に焦点を当てる

項目			検討事項	現在の構成
32	P82	【健康不安に対する取り組み】 基本シナリオ	○住民が持つ健康に対する不安を軽減するための取り組みについて伝えられる構成となっているか。 ○追加した方が良いデータ、取り組み等あるか。	①健康に関する国、県、市町村の取り組み →取り組み概要 ②県民健康調査 →県の取り組みの例として焦点を当てる。
33	P84	【除染の取り組み】 実物資料	※178,179資料先行確定	展示台調整の都合により、先行して確定したいもの。
34	P87	【復興への挑戦】 展示内容	○復興に挑戦する県内の取り組みが伝わる構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ A6-1 行政による復興への取り組み →行政の復興の取り組みについて、概要を紹介する。 ■ A6-2 廃炉の今 →廃炉の経過、今後の計画を紹介する。 ■ A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取り組み ■ A6-4 12市町村の復興への取り組み →県内の取り組みの中でも、イノベ構想、12市町村に焦点を当てる。 ■ A6-5 미래の街 →来館者自身が描く未来の街をつくってもらう。(体験) ■ A6-6 県民による復興への取り組み(チャレンジ!ふくしま) →県民の取り組みについて紹介する。
35	P88	【行政による復興への取り組み】 展示内容	○県内の復興への取り組みについて伝わる構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ A6-1 ○復興の歩み、県下の復興の様子と周囲の反応(デジタル解説) ※シナリオあり ○実物資料 →各市町村の復興計画等の概要を紹介。 ○復興する街全体演出(タイムラプス映像)※シナリオあり →復興の経過を定点カメラ映像で伝える。

項目				検討事項	現在の構成
36		P89	【復興の歩み、県下の復興の様子と周囲の反応】 基本シナリオ	○県内の復興への取り組みについて伝わる構成となっているか。 ○追加した方が良いデータ等あるか。	①各市町村の復興計画 →今後進められる復興計画について紹介する。 ②復興年表 →震災発生から現在までに行われてきた復興の取り組みについて、県内外の動きを年表でたどる。
37		P90	【復興する街全体演出】 基本シナリオ	○県内の復興の進捗が伝わる構成となっているか。	震災後～現在の各地のタイムラプス映像を組み合わせ、復興の経過を映像で伝える。
38		P91	【廃炉の今】 展示内容	○原発の廃炉の進捗状況、廃炉技術等について伝わる構成になっているか。	■ A6-2 ○廃炉計画（パネル解説） →概要紹介 ○廃炉の進め方（デジタル解説+模型）※シナリオあり →立体的に廃炉作業を紹介。 ○廃炉の歩み（デジタル解説）※シナリオあり ○廃炉作業進捗状況（パネル解説） →廃炉作業の経過、今後の計画を詳細解説
39		P92	【廃炉の進め方】 基本シナリオ	○廃炉の経過と、今後の計画について伝わる構成になっているか。	スクリーンでの映像解説と、模型に投射する作業イメージ映像を組み合わせ、これまでの経過と今後の計画を伝える。 ※展示手法変更可能性あり
40		P93	【廃炉の歩み】 基本シナリオ	○廃炉の経過と、今後の計画について伝わる構成になっているか。	年表と各時点の作業内容詳細、リアルタイム映像を組み合わせ解説する。
41		P94	【福島イノベーション・コースト構想の取り組み】 展示内容、基本シナリオ	○福島イノベーション・コースト構想について伝わる構成になっているか。	■ A6-3 ○解説映像（デジタル解説）※シナリオあり →概要説明 ○福島イノベーション・コースト構想の取り組み（パネル解説） →各分野について詳細解説 ○実物展示 ○未来技術デモンストレーションエリア →ロボット等の実物展示を検討中

項目			検討事項	現在の構成
42		P97 【12市町村の復興への取り組み】 展示内容	○12市町村の復興状況と、未来のビジョンについて伝わる構成となっているか。	■A6-4 ○解説映像（デジタル解説）※シナリオあり →概要説明 ○12市町村の復興への取り組み（パネル解説） →詳細解説 ○実物展示
43		P98 【解説映像】 基本シナリオ	○12市町村の復興状況と、未来のビジョンについて伝わる構成となっているか。 ○追加した方が良いテーマ等あるか。	①避難解除の様子（プロローグ） ②産業（復活した産業、新しい産業） ③教育（学校の再開、生まれ変わる学校） ④生活（インフラ整備、商業施設の再開）
44		P99 【みらいの街】 展示内容、基本シナリオ	○来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に創造できる構成となっているか。	■A6-5 ○みんなで作るみらいの街（デジタルコンテンツ） ※シナリオあり →来館者に街を創造してもらい、 一緒にみらいについて考えるきっかけとする。 ○実物展示
45		P101 【県民による復興への取り組み】 展示内容	○原子力災害によって課せられた様々な課題を乗り越えるために行われている、県民の復興への取り組みが伝わる構成となっているか。	■A6-6 ○チャレンジ！ふくしま（パネル解説） →詳細解説 ○実物展示 ○未来への想いメッセージ（映像）※シナリオあり →ダイジェスト
46	新規	P102 【未来への想いメッセージ】 基本シナリオ	○復興に取り組む県民の、未来への想いが伝わる構成となっているか。 ○追加すべきテーマはあるか。	①観光 ②農林水産業 ③故郷のにぎわい（商店の再開等） ④伝統文化の継承 ⑤福島食と日本酒 ⑥新産業の創出 ⑦自然環境